

第13回JIA九州建築塾
「日本」

新しい木造架構を考える

中村勉

建築家

JIA環境行動ラボ代表

課題説明

＜新しい木造架構を考える＞

主旨：日本の森林は荒れています。これだけの森林国なのに外材に押されて国産材の利用が少ないことが課題です。

そこで、私は20年来、公共建築を木造建築でつくることが必要だと主張してきました。

木造は現在第五世代の時代に入っています。製材を利用して、木と木がめり込みによって力を伝える方法を考えてみましょう。

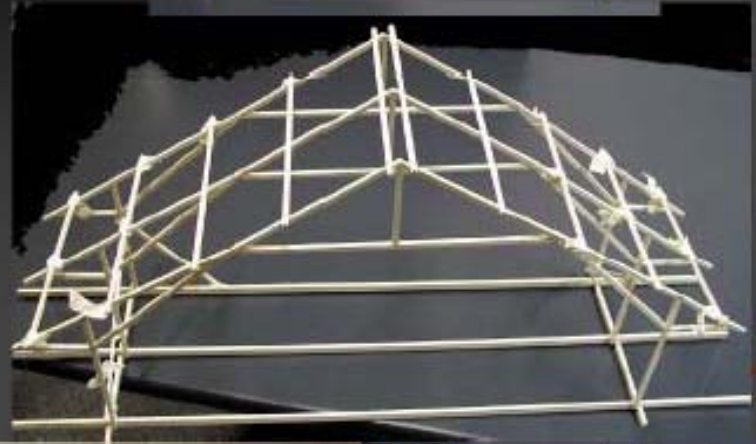
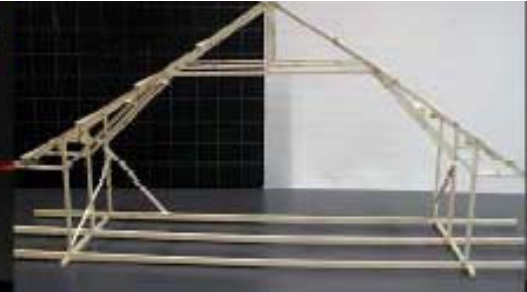
課題1：まず、次ページの図にある、基本構造4種類のうち、2種類以上を模型製作してきてください。

課題2：それを解説、講評します。その上で各自オリジナルな空間をこれらを応用して新しい木架構を構想し、模型製作を行います。

オリジナルな空間の敷地、プログラムは他の先生と相談し提出します。

新しい木造を考える

天秤梁構造



スリーヒンジ構造

卍固め構造



支点桁構造



材料説明

材料(一人分): 角材 1cm角 90cm 10本
5mm角 90cm 10本
10mm×5mm 90cm 10本
円固め用 30mm角棒 40cm 4本

ベニヤ 60×45cm 1枚

その他各自適宜持参。